

3月定例議会 一般質問予定

上野公悦議員

(15番目 3月20日(月)午前の見込み)

1. 第三セクターへの市の関与について

(1) リフレ上越山里振興株式会社の雇用調整助成金及び緊急雇用安定助成金の不正受給について、以下の点について聞きたい。

ア、なぜこのような不正受給が行われたか、調査結果から見えてくるものは何か。市の責任も免れないが、改めて市の考えはどうか。

イ、直接の関与者や役員及び株主等へどのような対処を行ったか、また今後どのように事案処理を行うのか。その際、留意すべきことはないのか。

ウ、この事案は、第三セクターのありようについてどんな課題・問題を投げかけたか考えるか。

(2) 第三セクターへの市の関与方針については、この度の事案をきっかけに改めて検証し、策定しなおすべきと考えるがどうか。

2. 市内の経済状況とさらなる支援について

(1) 令和4年11月及び令和5年2月に「上越市新型コロナウイルス感染症による経済状況共有会議」が開かれている。市内経済への影響をどのように見ているか。また、どのような検証が行われたのか。

(2) 令和4年12月13日に、上越商工会議所が市長に対して、①コロナ禍、物価高騰の影響を受ける中小・小規模事業者の事業継続に向けた支援、②中小・小規模事業者の自己変革への挑戦や事業承継などへの支援、③人口減少社会において都市間競争に打ち勝つための施策の拡充等、地域経済への支援を要望している。市長はこの要望に対してどのような対応を行うのか。

平良木哲也議員

(22番目 3月22日(水)午前の見込み)

1. 新型コロナウイルス感染症が5月8日から感染症法上の取扱いにおいて5類に移行することの影響

と、その対策について

(1) 新型コロナウイルスの感染力や病原性は、5類に移行しようとしまいと変わるわけではないにも関わらず、感染者への入院勧告や、感染者や濃厚接触者の外出制限、屋内で推奨されてきたマスクの着用、感染者の把握、感染者を診療する医療機関への補助といった医療的な措置が変わることに関し、市長はどのように考えているか。

(2) 5類への移行によって、市民生活にどのような影響が生じることになるのかを、市民にはどのような視点で、どんな内容を、どう伝える考えか。

(3) マスクの着用やいわゆるソーシャルディスタンスの取り方、多人数が集まる集会、式典、イベントなどの取扱および各個人の行動について、市民にはどのような呼びかけまたは周知を行う考えか。

(4) 飲食店や各種サービス業、交通事業者等の営業に関し、情報提供、対策の要請等を含め、市としてはどのような姿勢で臨む考えか。

(5) 5類への移行によって、医療提供体制に混乱が生じることが予想されるが、それに対してどのように対処する考えか。

(6) 5類への移行によって、国はワクチンの接種費用や治療費の公費支援を段階的に縮小するとしているが、この点に関し、市としてどう対処する考えか。

2. 政府による原発回帰の動きおよび柏崎刈羽原発の再稼働に向けた動きについて

(1) 岸田政権は2月10日、「GX実現に向けた基本方針」を閣議決定し、原発の60年を超えた運転や新增設を認める姿勢に転じた。このことを市長はどのように感じているか。

(2) 柏崎刈羽原発の30km圏内に位置する本市として、市民を危険にさらすことになる、このような政府方針には、毅然として反対の意思を表明し、何らかの対応を取るべきではないか。

3月定例議会の一般質問は、3月16～22日に行われます。32人中26人が発言通告を提出しました。日本共産党議員の予定日と質問内容は次の通

りです。

なお、質問予定日は変更される可能性があります。事前にホームページなどでご確認ください。

(3) 柏崎刈羽原発について、政府が今年夏以降の再稼働を目指す方針を打ち出しているほか、東京電力は10月の再稼働を想定しているとした運転計画を公表している。また、県は検証総括委員会について池内委員長との考え方の相違を理由に2年以上開催せず、これまでの3つの検証委員会の議論の成果を無視するような姿勢で再稼働に前のめりになっている。これらの動きについて、市長はどのように考えているか。

(4) 原発事故の惨禍から市民を守るべき市長として、柏崎刈羽原発の再稼働に対して反対を貫き、廃炉すべきであることを明言すべきと考えるがどうか。

橋爪法一議員

(23番目 3月22日(水)午後の見込み)

1. 主要地方道大潟高柳線整備促進について

(1) 吉川区川谷地内の災害復旧工事の現状と今後の見通しについて、県から最新情報としてどのような説明を受けているか。また、県への働きかけはどのようなものか。

(2) 大島区藤尾と柏崎市石黒間は、一定量の積雪に達すると通行止めになる。雪崩防止策などの整備を促進し、冬期間も通行可能となるよう県に働き

「上越地域医療センター病院基本計画」見直しへ

3月議会で厚生常任委員会に提示された資料には、「令和元年度末に策定した『上越地域医療センター病院基本計画』を見直す」という記述があります。

地域の市民が首を長くして待っている新しい病院の建設については、これまでも曖昧な表現でしたが、それをさらに後退させるのではないかと懸念が深まるような表現でしたが、審議の中で次のことが明らかになりました。

・ 新病院建設は、合併特例債を活用することにしており、その期限である2029年

かけを強めてほしいが、市長の見解を聞きたい。

2. 畜産危機について

(1) 今、上越から酪農・畜産の灯が消えるかどうかの瀬戸際だと受け止めている。市長は当市の畜産危機の現状及び原因について、どのような認識を持っているか。

(2) 関係農家は、飼料高騰対策、牛乳消費拡大などで支援を求めている。市として、支援についてどのような検討を行っているか。

(3) 畜産危機打開のためには、国の農政の転換が必要だと考える。国に対して、配合飼料の高騰前と現在の価格との差額を全額公費で補填する緊急支援、カレント・アクセスによる乳製品の義務的の全量輸入を停止すること、酪農・畜産の窮状を広く国民に伝え、牛乳、乳製品の消費拡大への協力を訴えることなどを求めるべきと考えるがどうか。

3. 地域自治体・地域協議会について

(1) 市長は、これまで地域自治体の再編を示唆する発言をしてきたが、今の認識はどうか。

(2) 地域協議会は地域住民を代表する審議機関となっていると考えるが、市長は、地域協議会の権限について、どのように考えているか。

までには竣工する予定である。

・ そのために、少なくともその3～4年前には実施設計を行うことが必要なので、2025年頃には実施設計を行うことになる。

・ したがって、来年度は「基本計画」を見直し、翌年頃には基本設計に着手したい。

・ 今回の「基本計画」の見直しの内容は、感染症対策としての病室の配置や、ワクチン接種に対応する設備の増強などである。



日本共産党上越市議員団ニュース
No.783 2023年3月12日
連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

**上越保健所管内新型コロナウイルス感染症
感染者発生状況 (3月5日現在)**
2 / 26 ~ 3 / 4
感染者総数 188人(前週-68)
1日平均 26.9人(前週-9.7)